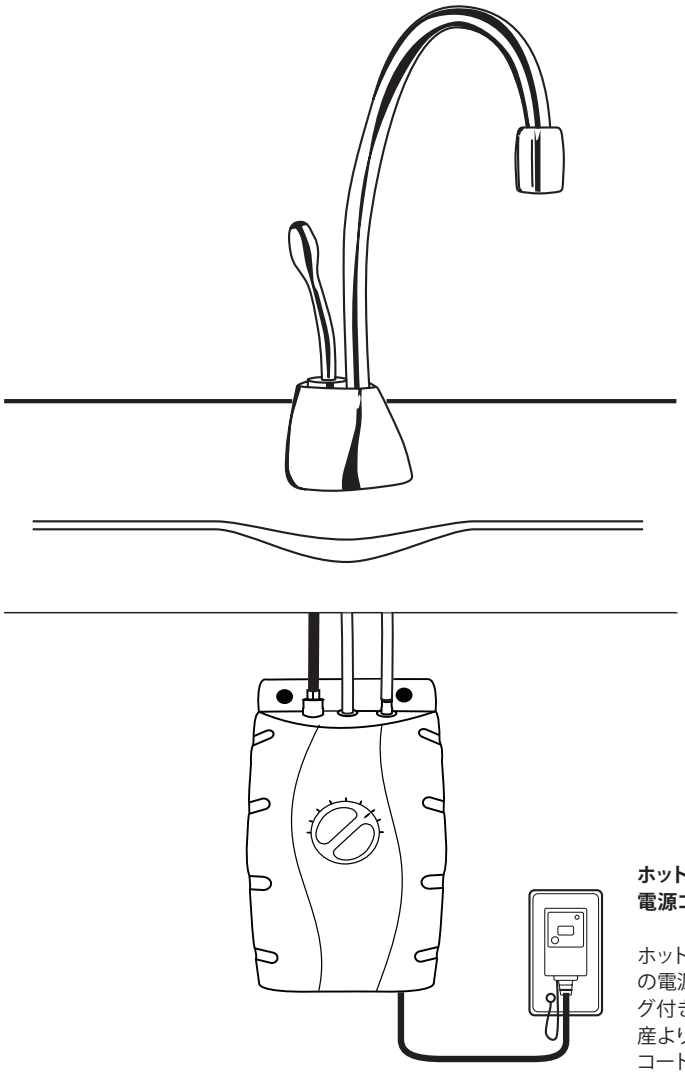
電気温水器 モデルGN1200

取扱説明書



ホットウォーターディスペンサーの
電源コード変更について

ホットウォーターディスペンサーGN1200の電源コードはこれまでの漏電遮断プラグ付きのコードでしたが、2014年4月生産よりアース端子付きの3ピンプラグのコードに変更となります。

この取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

安全上のご注意

⚠ 警告 本温水器からは90℃以上の熱湯に近い温水が給湯されますので、お子さまが操作されることのないよう、ご注意ください。

高齢者、障害者、子供あるいは電気製品への知識の乏しい方などが本製品を使用する場合には安全を確認できる保護者あるいは監督者の指示のもとにお使いください。
子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使わないようにしてください。
やけどなどの危険があります。

保証書つき

Part No. 44709 Rev B

このたびは　電気温水器　GN1200　をお買い上げいただき、ありがとうございました。
お使いになる前に、この説明書をお読みください。

1 お使いになる前に

この電気温水器は88℃から98℃の温水を供給いたします。
操作も簡単で、蛇口のハンドルを倒すだけで温水が得られます。
温水器の構造概略図と各部の名称は図１をご覧ください。

安全面では、電源プラグに漏電遮断器が付けられており、安全にご使用いただけます。
ただし、図2にありますように、漏電遮断プラグのアース線は必ず接地すること、濡れた手でプラグに触れないよう、ご注意ください。
また、タンク内部に水が入っていない状態で通電をしても、ヒーターが加熱されないように保護回路が組み込まれています。

図1　温水器の構造概略図

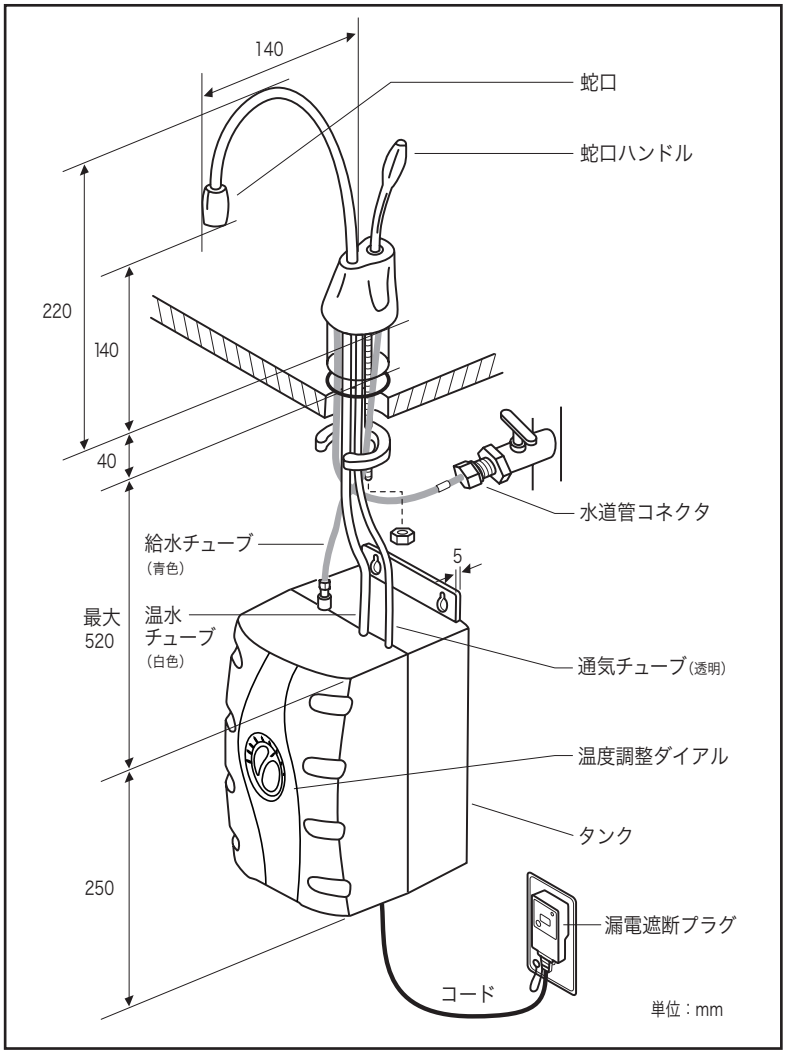
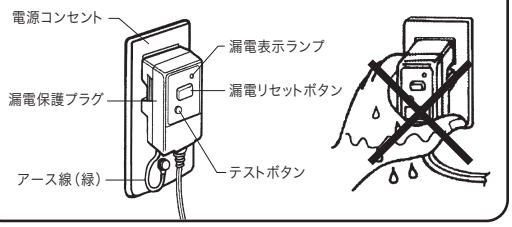


図2　漏電遮断プラグ

⚠ 危険

・漏電遮断プラグのアース線は必ず接地ください。
・濡れた手でプラグに触れないでください。



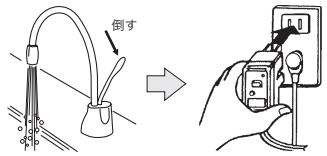
2 操作方法

2-1　給水の確認

(1) 漏電遮断プラグを差し込む前に、まず最初に給水の元栓を開けます。
(2) 蛇口のハンドルを倒します。約1分でタンクは一杯になり、水が蛇口から流れ出ます。(図3)
(3) お買い上げ後、始めてお使いになる場合は、すべての配管をチェックして、水漏れがあるかどうか調べてください。もし水漏れがあったら、取扱店に修理を依頼してください。

⚠ 注意

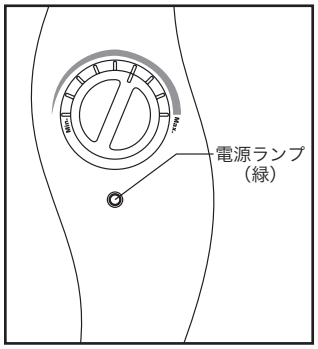
プラグをコンセントに差し込むのは一番最後にしてください。



2-2　電源を入れる

(1) チューブと接続部の点検が終了し、すべてが良好であれば、アースをした漏電遮断プラグをコンセントに差し込みます。プラグを差し込むと、電源ランプ（緑色）が点灯します。(図4)

図4

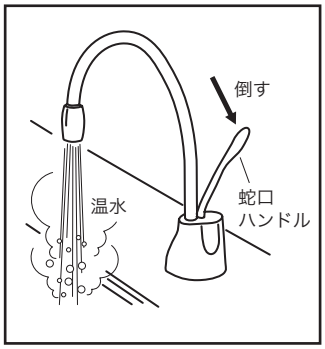


2-3　給湯する

(1) 電源投入後、タンク内のヒーターが適温になるまで、約15分以上お待ちください。

(2) その後、蛇口のハンドルを倒せば、蛇口からの温水が給湯されます。(図5)

図5

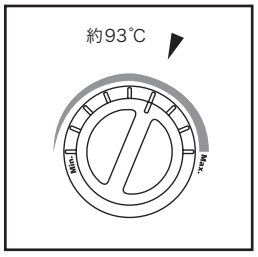


・2～3カップ（1カップ/約180cc）の連続給湯をした場合、次の給湯まで1～2分待ってください。タンク内の水温の上昇を待つ必要があります。

・温水器の水は運転開始直後、沸騰することがあります。もし、沸騰が長引くようであれば、タンク前面にある温度調整ダイアルを調整してください。

・工場出荷時の温度設定は約93℃となっています。(図6)

図6



・調整ダイアルを右方向に回せば、温度は高くなり、左方向に回せば、温度は低くなります。必要に応じて、調整してください。その際、ダイアルを急激に回さず、ゆっくりと回してください。

・ダイアルを回した後、蛇口ハンドルを20秒間倒して、新しい設定値への再加熱を行ってください。

⚠ 危険

感電：
感電を防ぐために、タンクを使用するまで漏電遮断プラグは抜いておいてください。
アース付きコンセントを使用してください。

⚠ 注意

やけどの危険：
湯を沸騰させないようにしてください。
やけどの危険があります。

3　お手入れの仕方

3-1　蛇口とタンクの清掃

・温水器の蛇口やタンクの樹脂部分をお洗いになる場合は、弱い中性洗剤をお使いください。

・酸性、アルカリ性及び有機溶剤の入った洗剤は樹脂製の部品には有害ですので、使用しないでください。

3-2　長期間使用しないとき

電気温水器を長期にわたって使用しない場合は、漏電遮断プラグを抜き、タンク内の水を抜いて乾燥した状態で清潔に保管してください。また気温が0℃以下となる場合も、タンクの水を抜いてください。排水方法は、次の手順に従ってください。

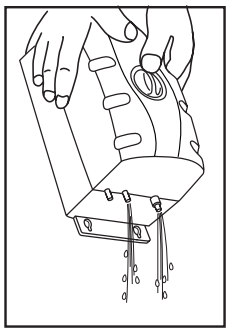
(1) 電源プラグを抜きます。(タンク正面の電源ランプが消える)

(2) 蛇口のハンドルを倒して、水温が冷たくなるまで水を流します。

(3) 給水蛇口の元栓を締めます。

(4) 給水、温水、通気各チューブを抜き、タンクを外して、天地を逆にして排水してください。(図 7)

図7



注意：再使用する時は、必ずタンクに水を満たしてから、漏電遮断プラグを入れてください。

3-3　水漏れの点検

定期的にタンクに水漏れの兆候がないか点検し、水漏れのある場合は直ちに使用をやめ、水漏れの個所を点検してください。また、水漏れによる被害を防ぐため、チューブがゆるんだり、裂けたりした場合は取り替える必要があります。

4 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の点をお調べください。お調べの結果、改善されないと判断された場合は、取扱店にご相談ください。

こんな時は	考えられる原因	このように対応してください
●蛇口のハンドルを倒しても冷水も温水も出ない。	●タンク内に水が入っていない。	●給水栓を開けて蛇口のハンドルを倒してタンク内に給水してください。 （タンク内に水が入っていないと保護回路が作動し加熱が行われません。）
●蛇口のハンドルを倒していないのに水や蒸気が蛇口から強く吹き出す。	●水が沸騰している。 （最初の加熱時に蒸気が出るのは異常ではありません。）	●蛇口ハンドルを倒して、蒸気と水をしばらく流します。 ●タンク前面の温度調整ダイアルで水温の調整をします。
●水が熱くならない。	●電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	●器具がアース付きコンセントに正しく接続されていることを確認します。 ●漏電遮断器のランプが点灯している場合は、漏電の確認をし、リセットボタンを押します。 ●元ブレーカーが落ちていないことを確認します。
●水が熱すぎる、または十分熱くならない。	●温度調整ダイアルが適切にセットされていない。 ●連続して給湯を行った	●温度調整ダイアルをゆっくり回して調整し、蛇口ハンドルを倒して20秒間温水を流し、再加熱をしてください。 ●水が新設定温度に達するには、5〜7分を要します。 ●2〜3カップ（1カップ/約180cc）の連続給湯をした場合、次の給湯まで1〜2分待ってください。タンク内の水温の上昇を待つ必要があります。
●水が蛇口から出ず、通気チューブから出る。	●温水チューブに詰まりがある。	●温水チューブに折れ、ねじれ、挟まれのないことをチェックします。 ●上記の異常がない場合は、取扱店に点検を依頼してください。
●水が蛇口や通気チューブから間欠的に滴り落ちる。	●水圧が低い。 ●温水チューブに詰まりがある。	●電源プラグを抜き、2〜3分たっても水の滴りが止まらなければ、給水の元栓が十分開いているかどうか、チェックします。 ●温水チューブの異常もなければ、取扱店に点検を依頼してください。
●蛇口からの水流が分かれる。	●蛇口内に異物がある。	●蛇口先端にごみが付着していないか、チェックしてください。

電源コードに損傷があった場合は危険を避けるために製造工場にて交換するか、
もしくはエマソンのサービス代行店あるいは修理資格のあるサービスマンでのみの対応となります。

仕　様

タンク	容量2.5リットル、ステンレス製
温度調節幅	約88〜98℃（タンク内水温）
周囲温度	10〜38℃（室温）
水圧	172〜862 kPa
電圧	100V
電力	980W
電源コード	漏電遮断プラグ付き電源コード（1m）

保証書

電気温水器 GN1200 が材質および製造上の欠陥にもとずき故障した場合は最初の取り付け日から一年間の保証をいたします。ただし、次のような場合を除外させていただきます。

- ご使用上の誤り、および当社サービスマン以外の者によって行われた不適切な修理や改造に起因する故障。
- 火災、地震、落雷、風水害、その他不可効力な天変地異による故障。
- 本保証書のご提示がない場合、右保証書にご記入がない場合。

お客様名

取扱い店名

取り付け年 月 日　平成　　年　　月　　日　　製造番号

エマソン・エレクトリック　イン・シンク・イレーター事業
InSinkErator, a Business unit of Emerson Electric Co.
0120-530-473
URL: http://www.insinkerator.jp